

胃透視検査（バリウムを飲む検査）を受けられる方へ

～安全でより良い検査を受けていただくために、ご理解とご協力をお願いします。～

下記の方は胃のX線検査を受けることが出来ません。

- 妊娠中の方、現在または今後妊娠の可能性のある方
（授乳中は検査を受けることはできますが、その旨 問診用紙にご記入ください）
- 過去にバリウムでアレルギー症状を起こしたことがある方
- 自分で立っていることが困難な方や、握力が弱っている方。麻痺や運動障害、痛みのため寝返りが自由にうてない方
- 腸閉塞や腸捻転の既往がある方
- 腹痛、便に血が混じる、などの症状がある方
- 大腸に憩室があるといわれている方
- 胃の全摘術（胃をすべて切り取る手術）を受けられた方
- 心臓や腎臓の病気で水分摂取制限を受けている方
- 食事中にむせる方や過去にバリウムが気管に入ったことがある方
- 体重 130kg 以上の方
- 70 歳以上の方

下記の方はかかりつけ医やお近くの医療機関に相談し、許可が得られてから検査をご検討ください。

- 検査当日の収縮期血圧が 170mmHg 以上または拡張期血圧が 100mmHg 以上の方
- ひどい便秘の方、過去にバリウムが出ず浣腸したり医療機関を受診したことがある方
- 過去 1 年以内にお腹や心臓、肺、整形外科の手術をされた方
- めまいや立ちくらみ、てんかんなどで倒れたことがある方
- 大腸手術の既往がある方、クローン病や潰瘍性大腸炎など大腸の病気で治療中の方
- 喘息や心臓の病気などで治療中の方
- 過去に胃透視の検査中または検査後に気分が悪くなったことがある方

下記の方は健診を延期してください。

- 当日体調のすぐれない方
- 検査当日を含め 3 日以上排便のない方
- 当日食事を摂った方（ひと口でも）